

本学会誌の電子ジャーナル化についてのアンケート調査結果

◆**会員専用ページ** 「オンライン化(電子化)に関するアンケート調査」

◆対象：全ての学会員

◆アンケート調査期間：2023年3月8日（水）～ 5月8日（月）

回答数は756件（総数 4,005件）

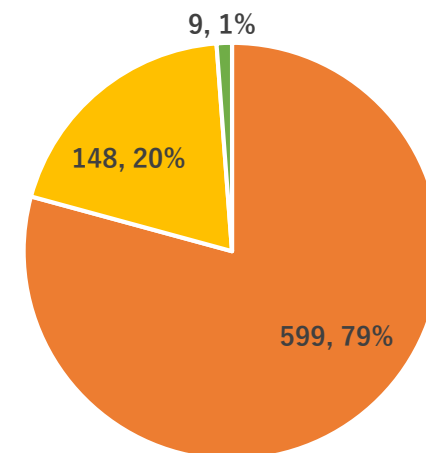
質問

Q1 会員種別

☐正会員（一般） ☐正会員（評議員） ☐賛助会員 ☐その他会員（功労会員，名誉会員）

（当てはまるものを1つお選びください。）

Q1. 会員種別



- 正会員（一般）
- 正会員（評議員）
- その他会員（功労会員，名誉会員）

質問

Q2 会員種別

☐功労会員 ☐名誉会員

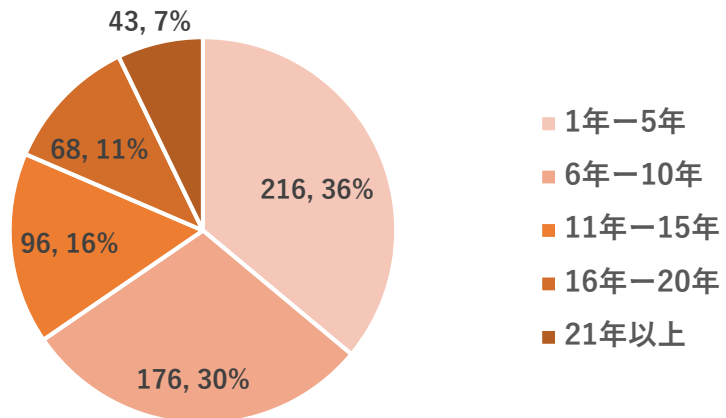
質問

Q3 会員歴(年数)

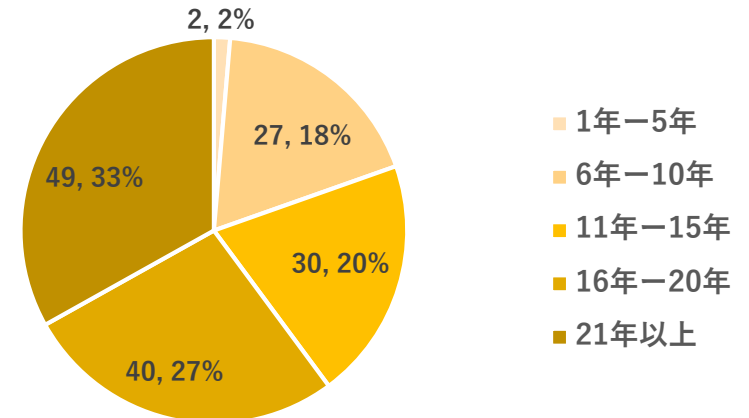
☐ 1年－5年 ☐ 6年－10年 ☐ 11年－15年 ☐ 16年－20年 ☐ 21年以上

(当てはまるものを1つお選びください。)

Q3. 会員歴(年数) 正会員（一般）



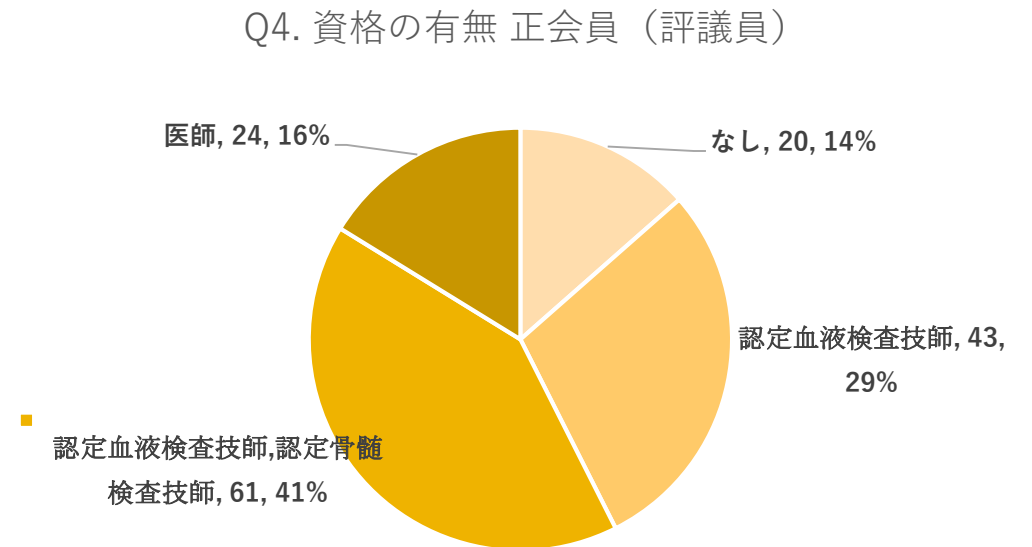
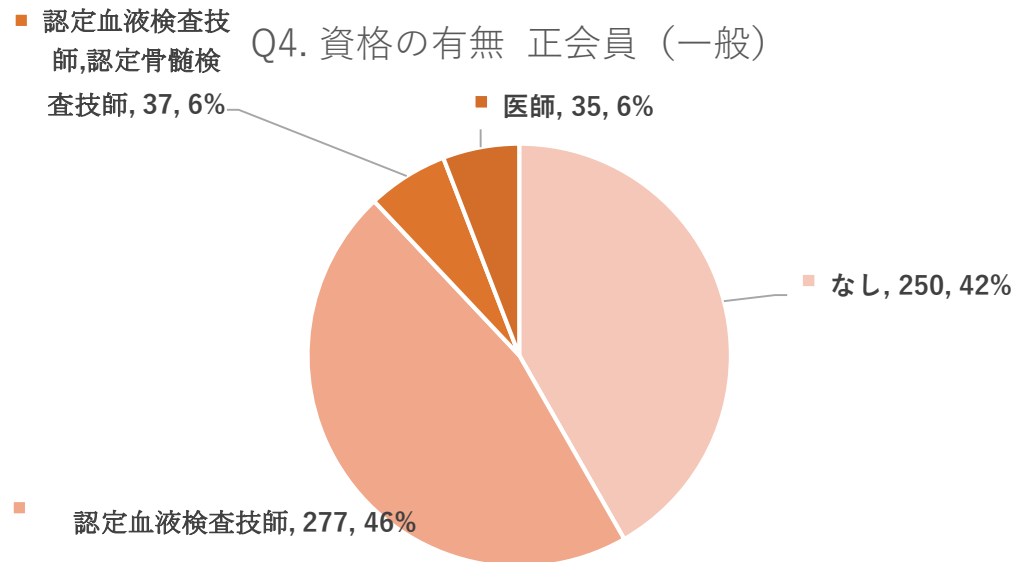
Q3. 会員歴(年数) 正会員（評議員）



質問

Q4 資格の有無

- ☐ 認定血液検査技師
- ☐ 認定骨髓検査技師
- ☐ 医師
- ☐ なし



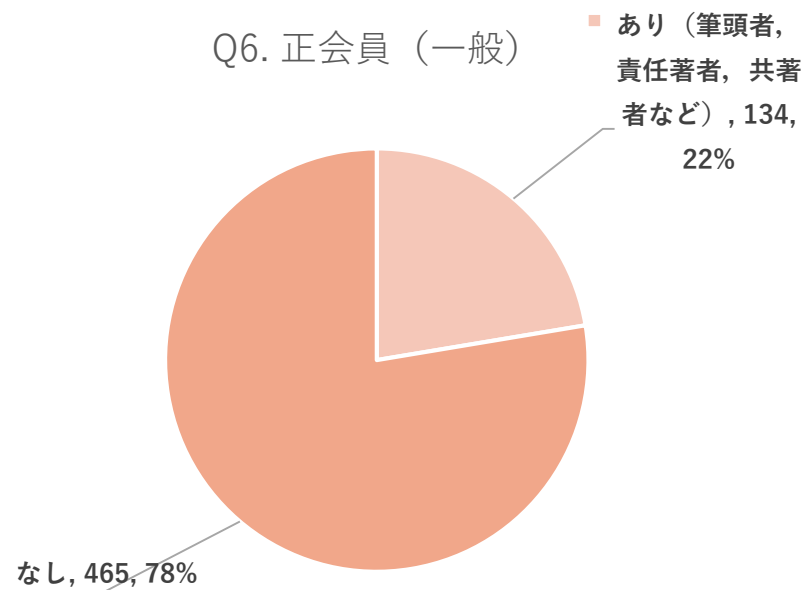
質問

Q5 投稿歴（一般投稿，特別寄稿など）

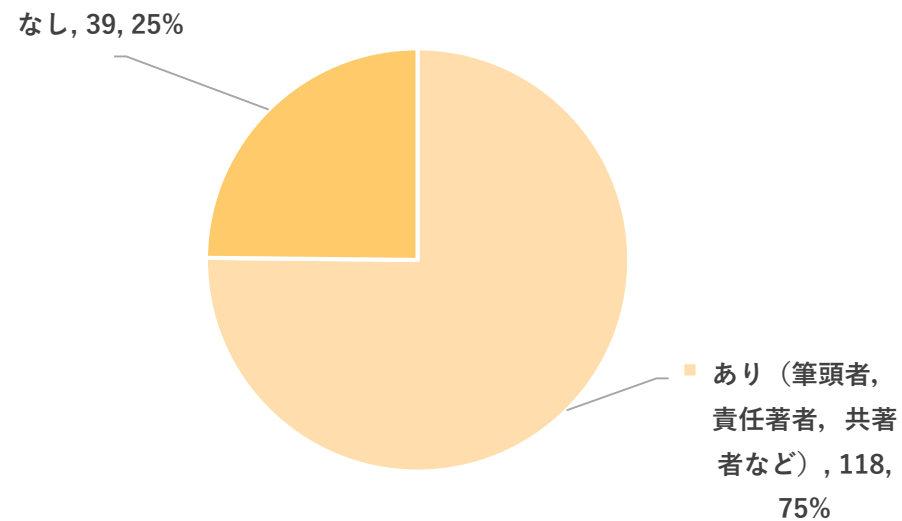
☐あり（筆頭者，責任著者，共著者など） ☐なし

（当てはまるものを1つお選びください。）

Q6. 正会員（一般）

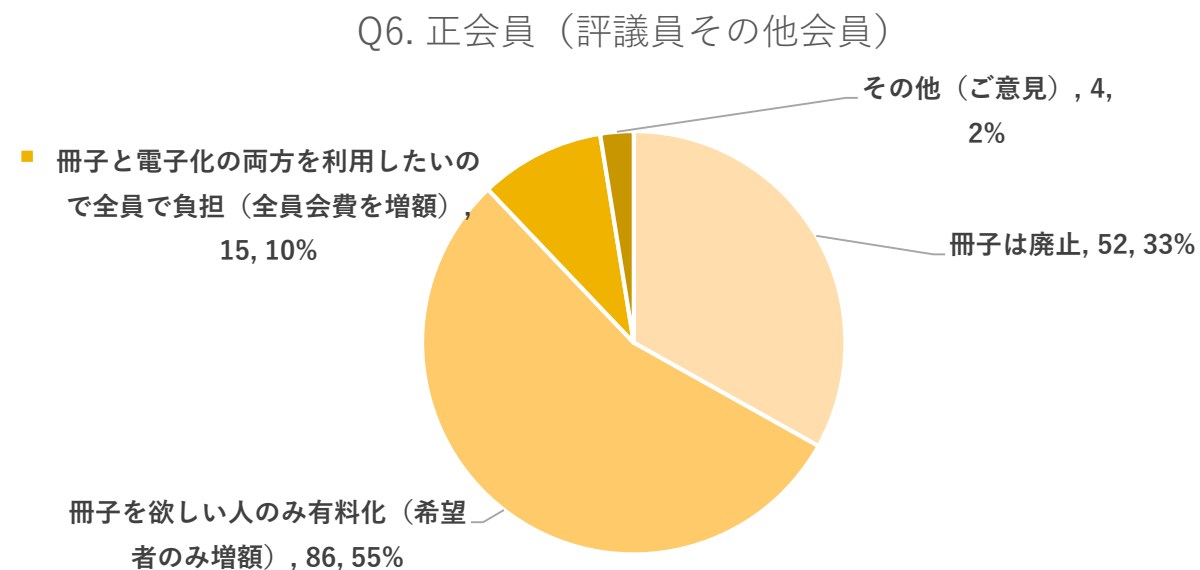
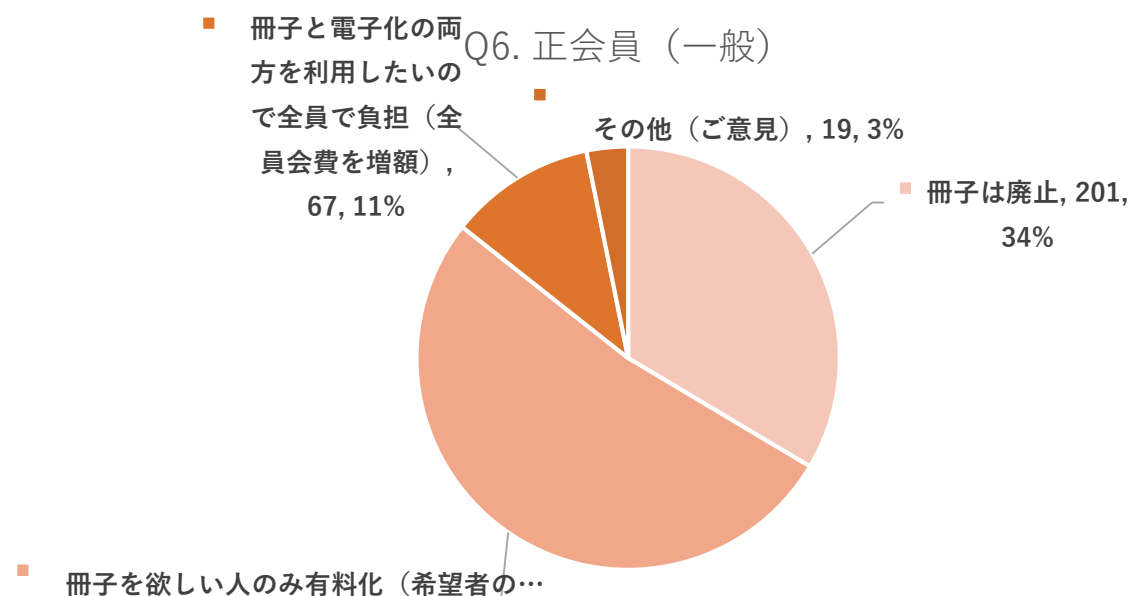


Q6. 正会員（評議員その他会員）



Q6 学会誌の完全電子ジャーナル化について、冊子（紙媒体）と電子化（オンライン化）の両立は学会の経費としては負担が大きいです、どうしたらよいと思いますか？

- 冊子は廃止
- 冊子を欲しい人のみ有料化(希望者のみ増額)
- 冊子と電子化の両方を利用したいので全員で負担(全員会費を増額)
- その他(ご意見)



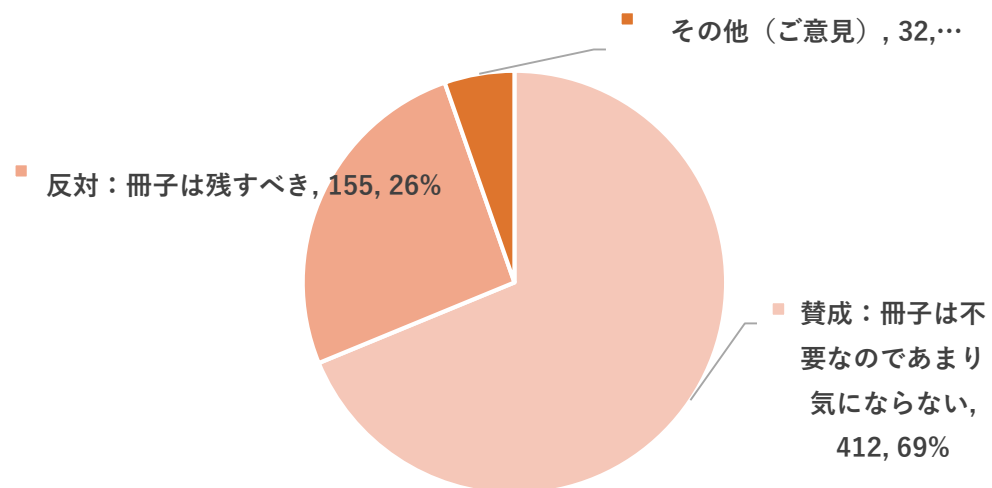
Q7 その他(ご意見)

- **冊子の利点（反対）：** 今まで通り冊子のみの方がよい，電子化は必要ない，冊子で届くことで、時間がある時にさっと見れる，電子化するとそのためにパソコンを立ち上げなければいけないので、面倒になり見なくなる可能性がある。タブレットやスマホだと操作性もよくない（読むために拡大すると次のページへ行くときに再度縮小して次ページへ移行など）ことに加え、自宅外で見たい場合に通信費がかかる。学会誌は送付されてくるから目を通すと思う。自分で電子化すると自ら見に行くとは思わない
- **お金の問題：** 年会費の増額だけは起こらない形で（増額は絶対反対），僅かでも値下げ
- **賛成：** 学会や講習会の案内はメールでいいんだし，電子化してPDFをメールあてに送付することにしたらいいと思う。経費削減になり、電子化されてもメールに添付して送ってくれば自らアクセスして閲覧しやすいと思う。
- 希望者には有料で冊子を配布
- 個人的には冊子寄りで両方利用したい
- 通常の学会誌は電子媒体でもよいが、学術集会の抄録集は冊子で欲しい
- 退会した場合でも、入会していた期間の冊子は閲覧可能とすべき
- 必要な回だけ購入できるとよいと思います。（定期購読ではなく）
- 冊子もオンライン化もお金がかかるなら両方とも有料にすればよいと思う

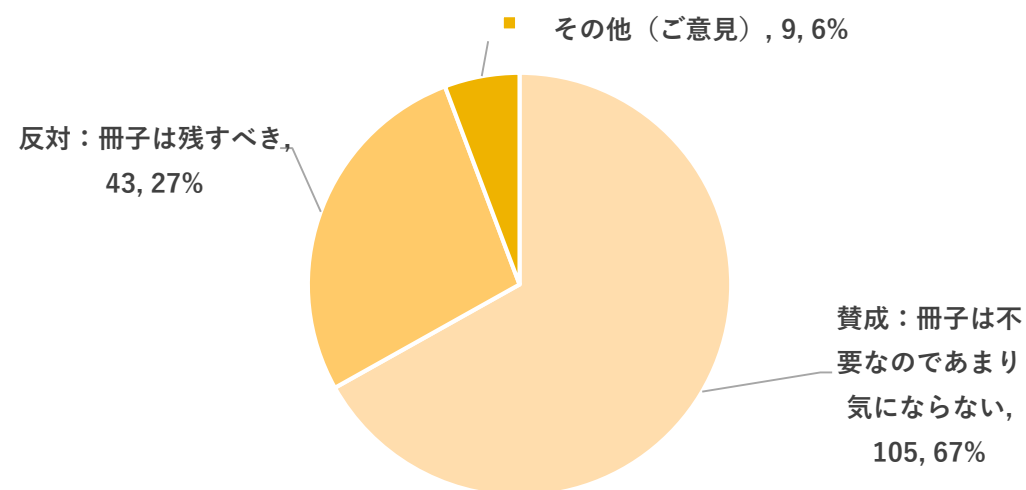
Q8 冊子が完全に廃止されることについて（オンライン化のみ）

- ・ 賛成:冊子は不要なのであまり気にならない
- ・ 反対:冊子は残すべき
- ・ その他(ご意見)

Q8. 正会員（一般）



Q8. 正会員（評議員その他会員）

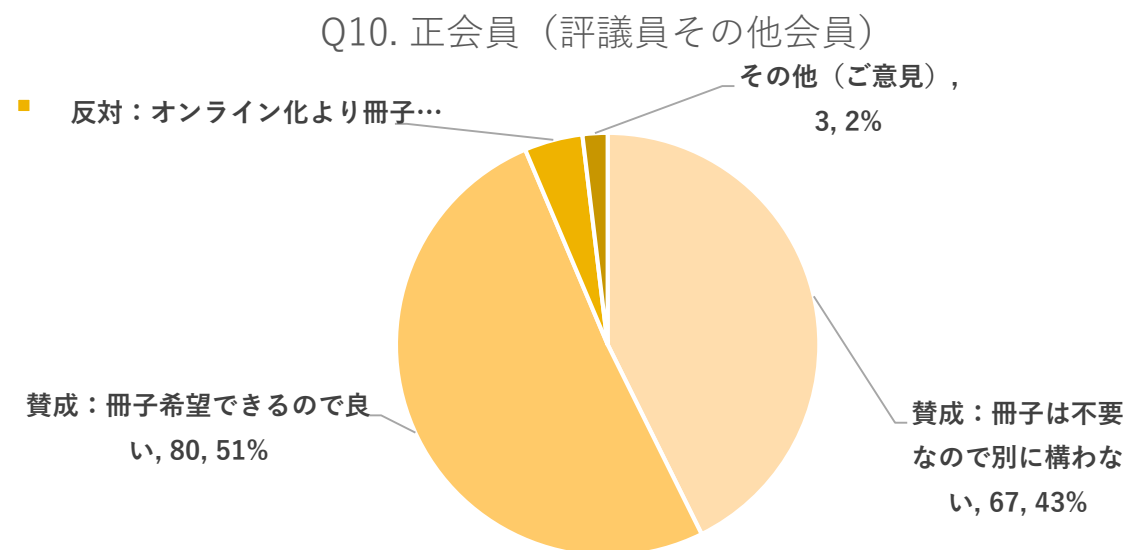
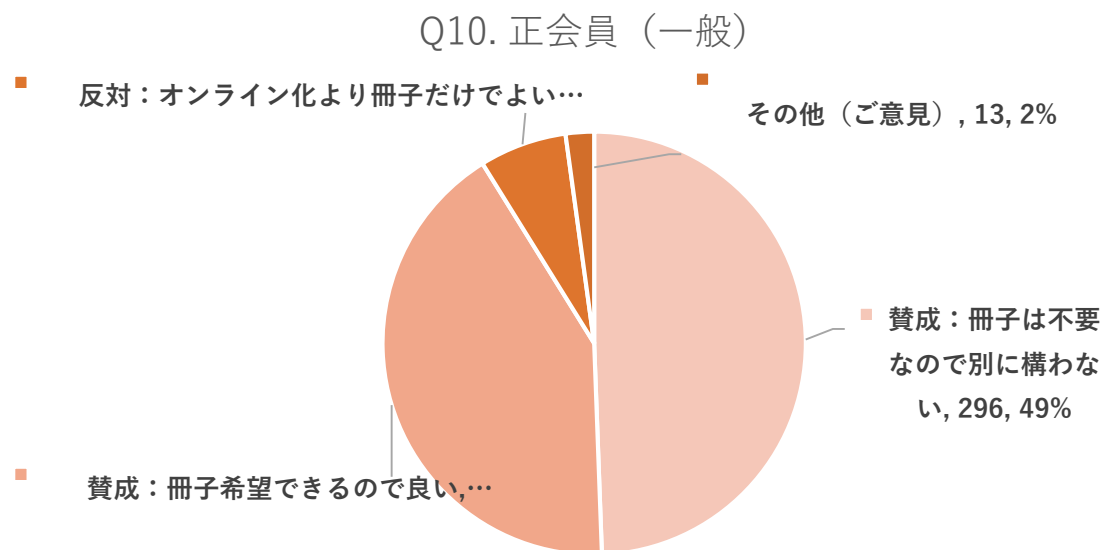


Q9 その他(ご意見)

- **冊子を残したい：** 電子化のみは困ります。反対。 **冊子は閲覧しやすい**ので残してほしい、スマホで読むのは厳しい。**PCのあるところでしか読めないのは不便**。当直中などちょっとした合間に気軽に読みたい。 やはり冊子の方が見やすいです。 “残すべき。メモ書きや特に学会開催誌ではそれに書き込むことが多い。冊子は手元にあったらすぐ見れる。本来はダメだとは思いますが、現実として**冊子は所属部門として供覧**しているが、オンラインだけになると部門としての供覧ができなくなるのがデメリット
- **学術集会号：** 全てを廃止するのではなく、**学術集会号**のみ冊子が良い、**学術集会時の冊子**は全会員に発行をして欲しい。学術集会の講演内容が記載されている号はありがたかった。
- **有償対応でよい：** 希望者には有料で冊子を発行で良い。基本的にオンラインのみでよいが、冊子を作成し販売も行えるとよい。有料（増額）で構いませんので冊子を残していただくと助かります。電子ジャーナルを利用しやすい職場環境の人ばかりではないので希望者には有料で配布。
- **やむを得ないから廃止も可：** 保管を考えると電子化がよいと思う。冊子が不要とは思いますが（個人的には冊子が好きですが）、長期間の保管や**経費面**を考えると完全に廃止すべき。冊子不要とまでは考えていませんが、経費面の負担を考えると電子化は仕方ないと思います。冊子の方が良いが、学会の負担が大きいのであれば仕方がない。経費的にきびしいのであればなくなっても仕方がないと思う。**年会費が増額するなら冊子なし**で良い。可能ならば残したほうが良いと思うが、学会費の増額が必要ならば廃止もやむなし、どちらかを選択しなければならないのであれば、冊子は廃止となっても仕方がない。
- オンライン化： **印刷しやすい設定**、過去の掲載内容を**検索できるような機能**、会員が自由に論文単位で**ダウンロード**、オンラインでも供覧が可能な形としてほしいです
- 個人的に冊子があれば助かる面もありますが、不要の意見が大多数であればそれに従います。
- **退会しても、入会していた期間の冊子は閲覧可能**とすべき
- 本誌の年4回発行は自身にとって程よいと感じており、届くのが楽しみでもある。

Q10 冊子を継続するが有料化されることについて（冊子の希望者は別途費用負担，希望なければ会費変更なし）

- 賛成:冊子は不要なので別に構わない
- 賛成:冊子希望できるので良い
- 反対:オンライン化より冊子だけでよい(現状維持)
- その他(ご意見)



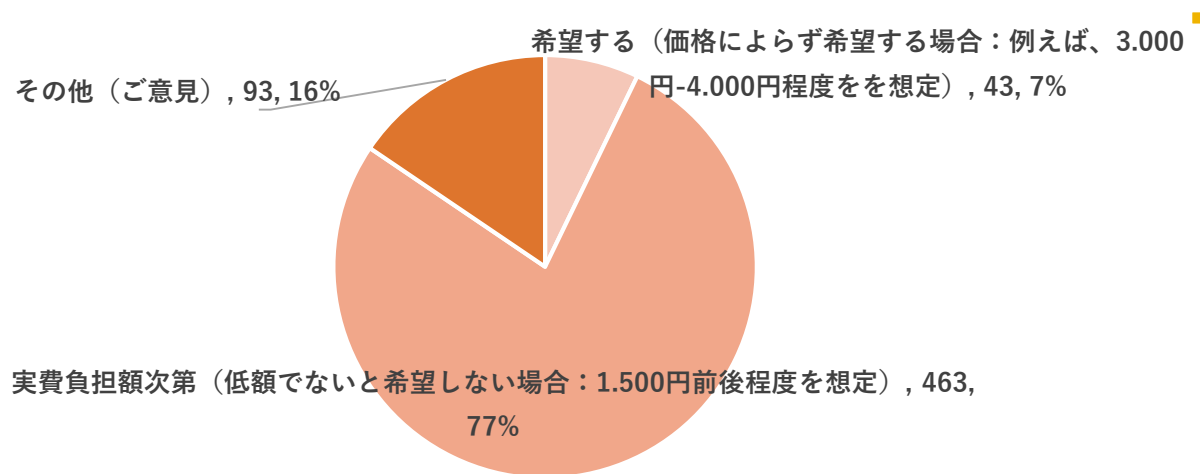
Q11 その他(ご意見)

- 学術集会のときの冊子だけは欲しいです。“多少会費が高くなっても学会抄録集は配布してほしい、それ以外は電子媒体でよい”
- 冊子がいいが、学会費増額されるなら廃止でも仕方ない 増額は反対
- "希望者のみに有料の冊子を販売することで経費が高くなるようであれば不要と考えます。（印刷する経費などをすべて販売料に計上できるのであれば問題ないと思います）”
- 退会しても、入会していた期間の冊子は閲覧可能とすべき
- "会員費は一定にして学会誌発行の際はメールなどでその内容（目次ページのPDFファイルなど）を知らせ、冊子の希望者は冊子の代金（会費とは別）とともに期日までに申し込み、後日希望者に郵送する。

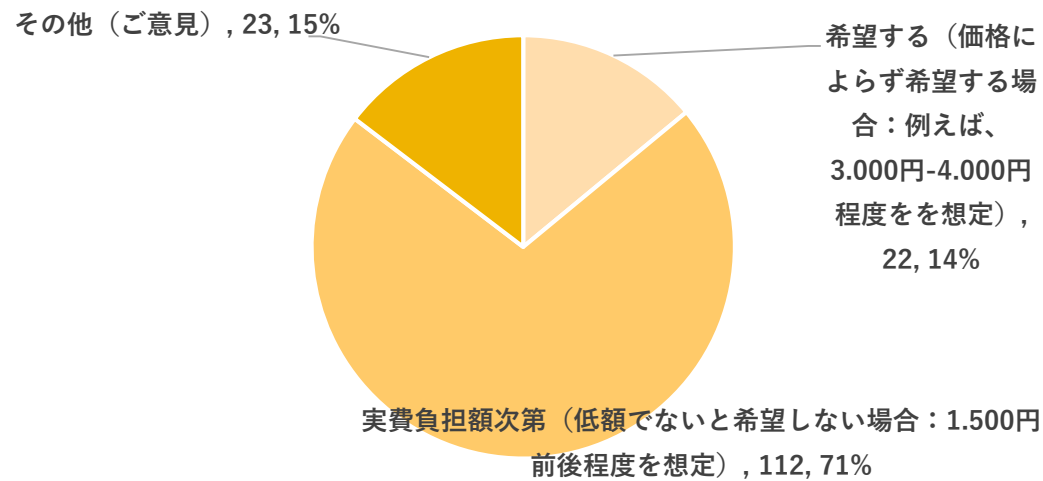
Q12 実費を負担しても、冊子版の郵送を希望されますか？（冊子の希望者は別途費用負担、希望なければ会費変更なし）

- 希望する(価格によらず希望する場合:例えば、3000-4000円程度を想定)
- 実費負担額次第(低額でないと希望しない場合: 1500円前後程度を想定)
- その他(ご意見)

Q12. 正会員（一般）



Q12. 正会員（評議員その他会員）



Q13 その他(ご意見)

- 冊子は希望しないので会費変更なし、会員費用や試験費用ですらきついで、金額負担が増えることは一切望まない、
- 学術集会時の冊子のみは配布して欲しい。それ以外は電子版で良いです。学術集会抄録集のみ1回の冊子製本（要望中）であれば、実費負担なく会費の現状維持で可能では？
- 希望しない、冊子は必要ない、不要。冊子を希望するつもりはないので、その他にした（その選択肢がない）、電子書籍のみでよい。冊子は捨てるだけになってしまうので、いらない。有料無料にかかわらず廃止希望、冊子は必要な時、必要なページのみ各自でダウンロードすれば良い。届いた後の冊子の管理が大変なので、安くても希望しない。
- オンラインになるなら冊子は不要なので購入予定はない費用負担してまで希望することはないと思います。
- 費用負担があるのならば希望しない、冊子があると便利だが、この値段になら電子版のみで良い
- 資格維持のために、学会入会している状態。
- 冊子希望者のみ負担する、有料でも冊子が欲しいと思う方がいると思ったので冊子を残した方が良い
- 希望の立場だったら、一般的な検査技師向けの雑誌は2000円弱なので1500から2000円程度なら希望しやすい。1000円未満であれば希望を考える、値段により検討する
- 自分で印刷したいと思う量と金額の比較
- 実費を負担しても冊子版の郵送を希望します。医療情報学会は両者を選択できます。冊子が必要な場合は3,000円の負担増となります。人工知能学会は、Web、冊子、両方同時配布で、学会費に差はない。

Q13 その他(ご意見) つづき

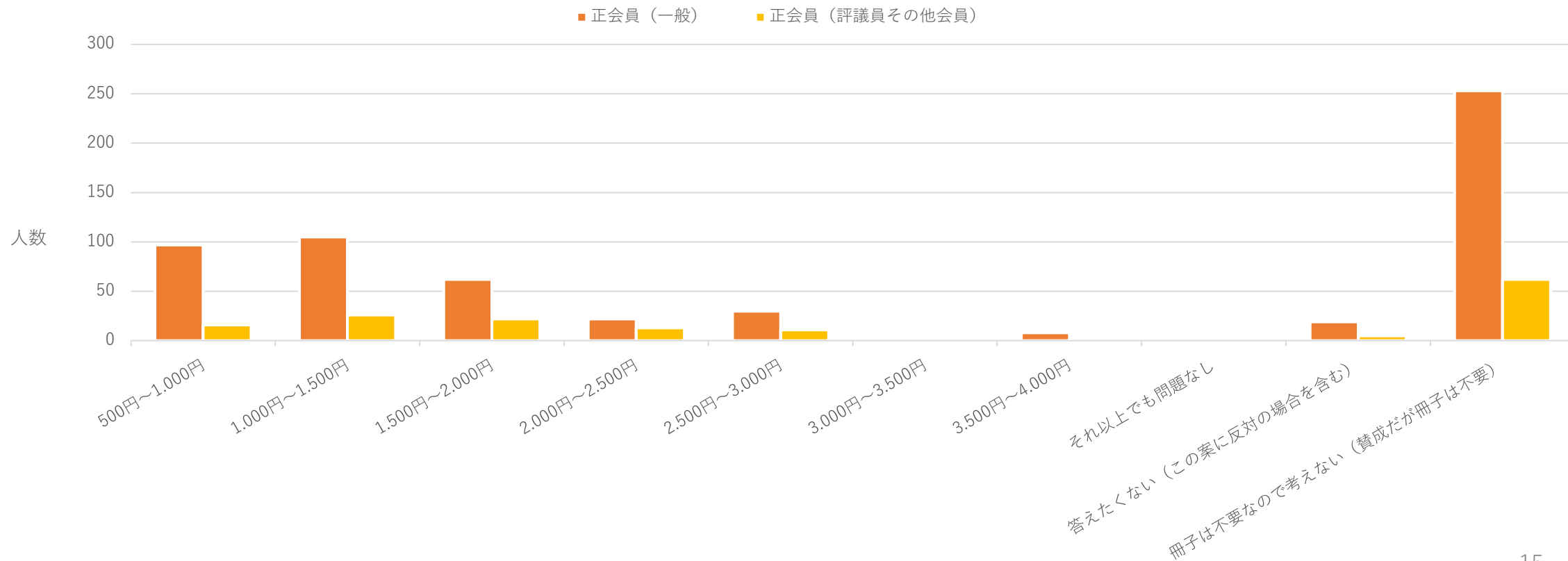
- 継続して購入するような定期購読のような形式ではなく、欲しい巻のみオーダー・購入できる形式が便利。実費負担額とそのときの状況により、希望時のみ購入を検討したい。 年間契約ではなく欲しい号のみ冊子で売って欲しい。在庫管理大変そうですが。。。 ほしいときのみ支払いという形ではいかがでしょうか？ バックナンバーで購入出来れば良い。冊子としてほしいときには有料でも申し込む
- 今まで通りを希望する。学会の会誌は欲しい、電子化することで、会費が増えたり冊子が廃止になるのは困る。
- 電子ジャーナルの閲覧期間による。
- 冊子がなくなると、なんとなく開いてみるとか、目次をサラッと見る、というような機会がなくなるので、「今月号のコンテンツ紹介」のようなメール案内があれば、気になる記事を見つけられて良いと思うし、ページビューも増えて学会誌の活用にも良い。
- たぶん電子化してもスマホで観ることになると思うので見にくくなると思います。
- 冊子も届かなければ、学会所属している意味はない
- "年会費が3000円程度増額という事ですか？1冊につきこの金額なのですか？
- 電子化のみで良いとする場合に減額するという選択肢はないのですか？ “負担ありきの話なのでよく分からない。 費用がかかるから冊子はあきらめて欲しいという風にしか受け取れませんので回答できません。 冊子を配布して負担増になるのは、学会の努力不足と考えます。他の専門学会誌と比較して投稿数も少なく、改善を求めます。今まで年会費のみだったものが追加となると、よくわからない。電子化により年会費が下がるということなら、冊子分追加徴収することも理解できる。
- "電子化か冊子どちらか希望にし、両方見たい方だけ有料にしてください。

Q14 冊子が有料化された場合、いくらまでなら実費を負担されますか？（冊子が欲しいので学会費に追加して支払うことになる金額をお答えください）

- 500円～1,000円
- 1,000円～1,500円
- 1,500円～2,000円
- 2,000円～2,500円
- 2,500円～3,000円
- 3,500円～4,000円

- それ以上でも問題なし
- 答えたくない（この案に反対の場合を含む）
- 冊子は不要なので考えない（賛成だが冊子は不要）

Q14. 正会員（一般）



Q16 現在でも学術専門の電子書籍サービス KaLibにて、オンライン上で雑誌を見ることができます

- 知っていた
- 知らなかった
- その他(ご意見)

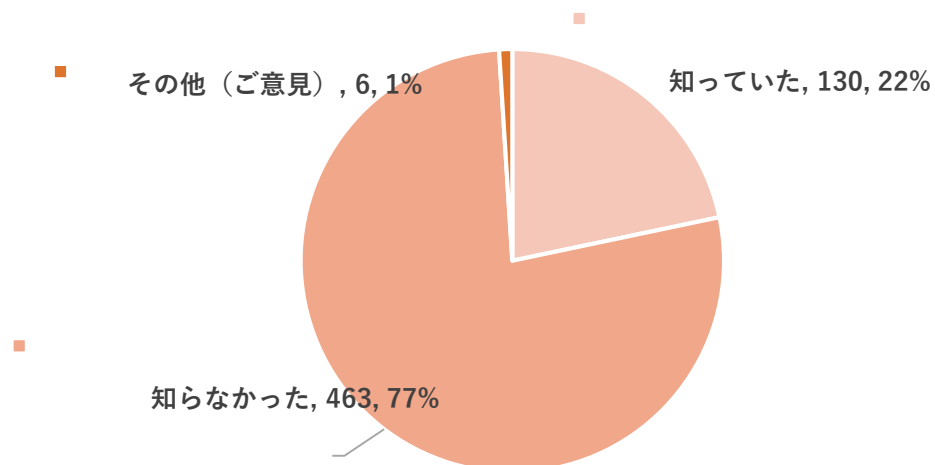
Q17 ご意見

論文を見ることはできるかもしれないが、通常の検索ではほとんどヒットしないので、現在のWEB掲載では引用回数も伸びずにあまり意味がないと感じる。

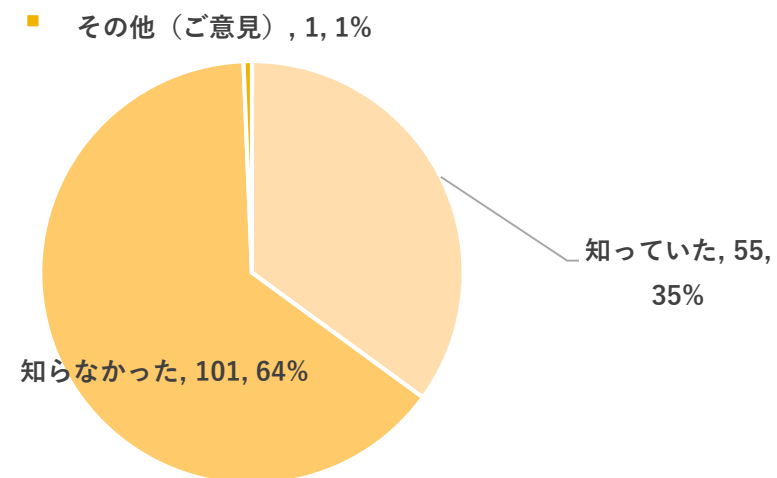
引用回数が伸びないと、雑誌としての魅力も乏しく感じてしまい、別の雑誌への投稿を考えるようになる。

知っていたが閲覧しにくいので利用していません。 利用しようと試みたが、分からずに諦めた経験がある。あまりオンラインを使用しないので。 はじめは閲覧できていたが、見れなくなってしまった。

Q16. 正会員（一般）

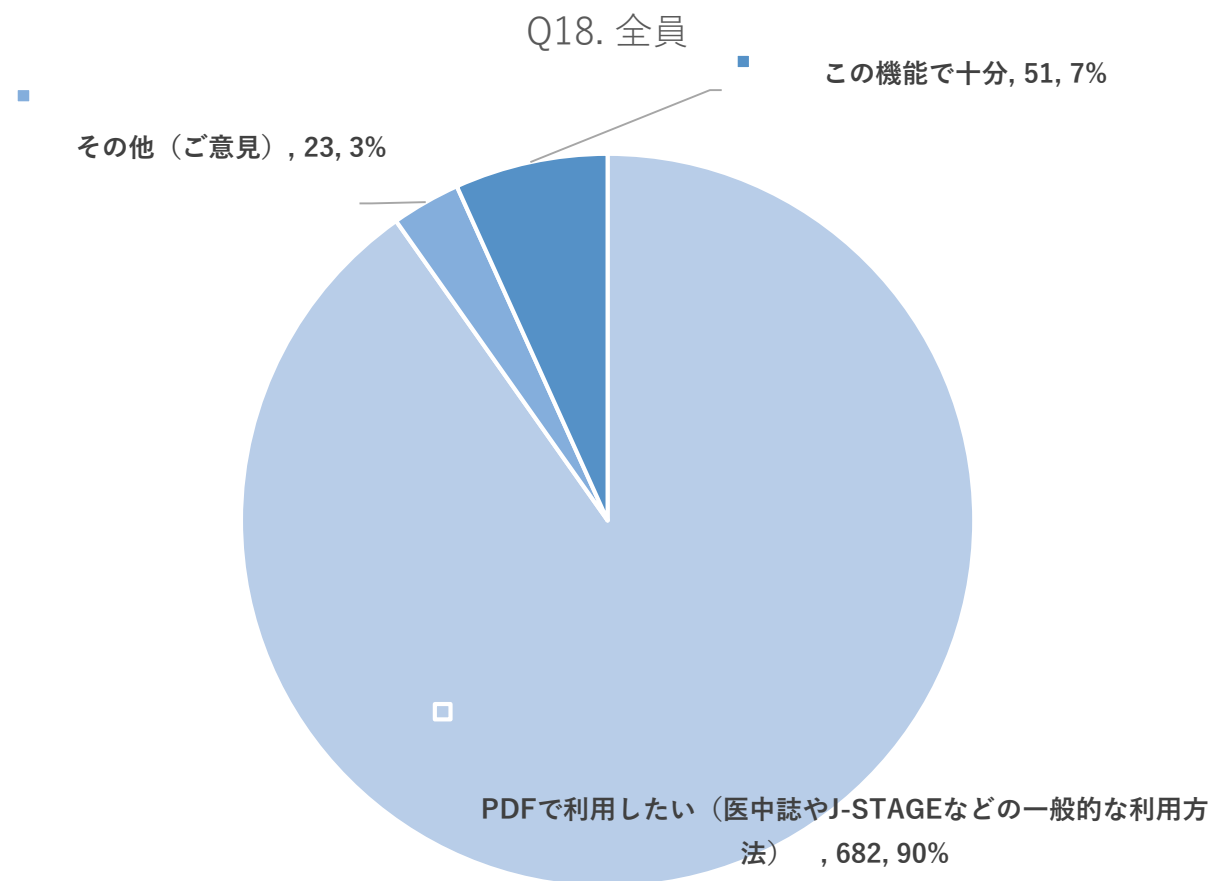


Q16. 正会員（評議員その他会員）



Q18 KaLibではオンラインでいつでも見られるのですが、「日本検査血液学会雑誌14巻1号～であること」「会員のみ利用」「KaLibリーダーが必要」「PDF形式ではない」「印刷はできない」などの不便なこともあります。

- この機能で十分
- PDFで利用したい(医中誌やJ-STAGEなどの一般的な利用 方法)
- その他(ご意見)

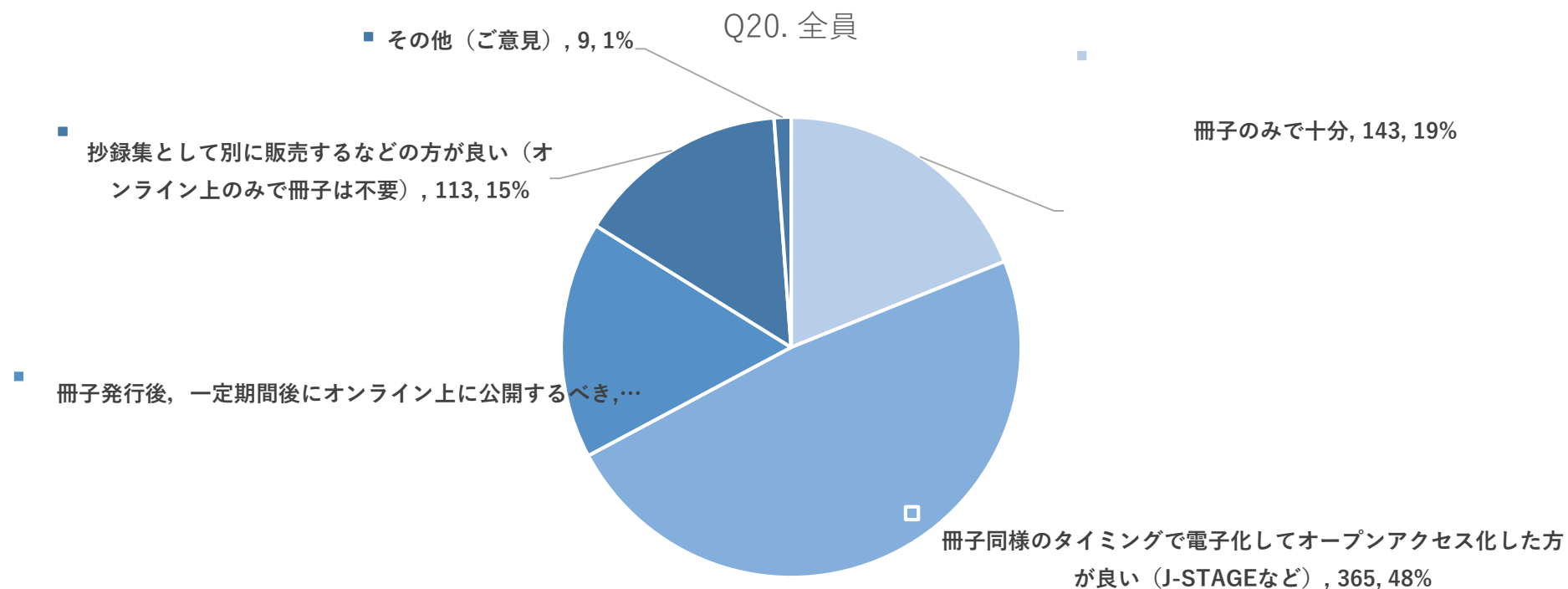


Q19 その他(ご意見)

- 通常の検索ではあまりヒットしないため、意義に乏しいと感じる。
- スマートフォンで閲覧しやすいものが良いです
- 印刷はできるようにしてほしい
- PDF形式と印刷ができると良いと思いました。(PDF出力ができない事で非常に使い勝手が悪い)
- キーワード検索機能がないためたどり着きたい文献を探すことが出来ません。KaLibについては、早急に他のシステムへの移行をお願い致します。
- 全然知らなかったしそのサイトの会員にならないと見られないのはとっても不便ですが、そちらを利用すればよいという人が多いのであれば現状のまま学会は冊子を発行すればよいのではと思う
- 不便なら利用しない。
- オンラインで利用したことがないので、わかりません。医中誌やJ-STAGEを普段利用しないので使い勝手がよくわからない。
- 電子化で会員は過去分を含むすべてを閲覧できるようにしてほしい。
- オンライン化は賛成ですが、KaLibの使用を続けるならば絶対反対です。見たい文献に辿り着くのが大変分かりづらく、私は辿り着けませんでした。「日本検査血液学会雑誌14巻1号～であること」「会員のみ利用」「KaLibリーダーが必要」「PDF形式ではない」「印刷はできない」このような運用では広く情報を提供する事も得る事もできないと思います。今でさえ、ネットで閲覧できないため他誌に投稿する会員もいるのに、KaLibのこの運用で誰の目に留まるのでしょうか？学会の発展や会員サービスの視点から再考をお願い致します。
- もし会員を継続できなくなった場合、冊子がなければ過去のものも閲覧できなくなるということだと不便
- PDF出ない場合の不具合はどんな点ですか？
- アプリに関する社内規定が厳しいため、リーダーをインストールしなくとも利用できる方法があると幸いです。

Q20 学術集会の抄録集についても他の号と同様にした方が良いでしょうか？

- 冊子のみで十分
- 冊子同様のタイミングで電子化してオープンアクセス化した方がよい(J-STAGEなど)
- 冊子発行後、一定期間後にオンライン上に公開 すべき
- 抄録集として別に販売するなどの方がよい(オンライン上のみで冊子は不要)
- その他(ご意見)

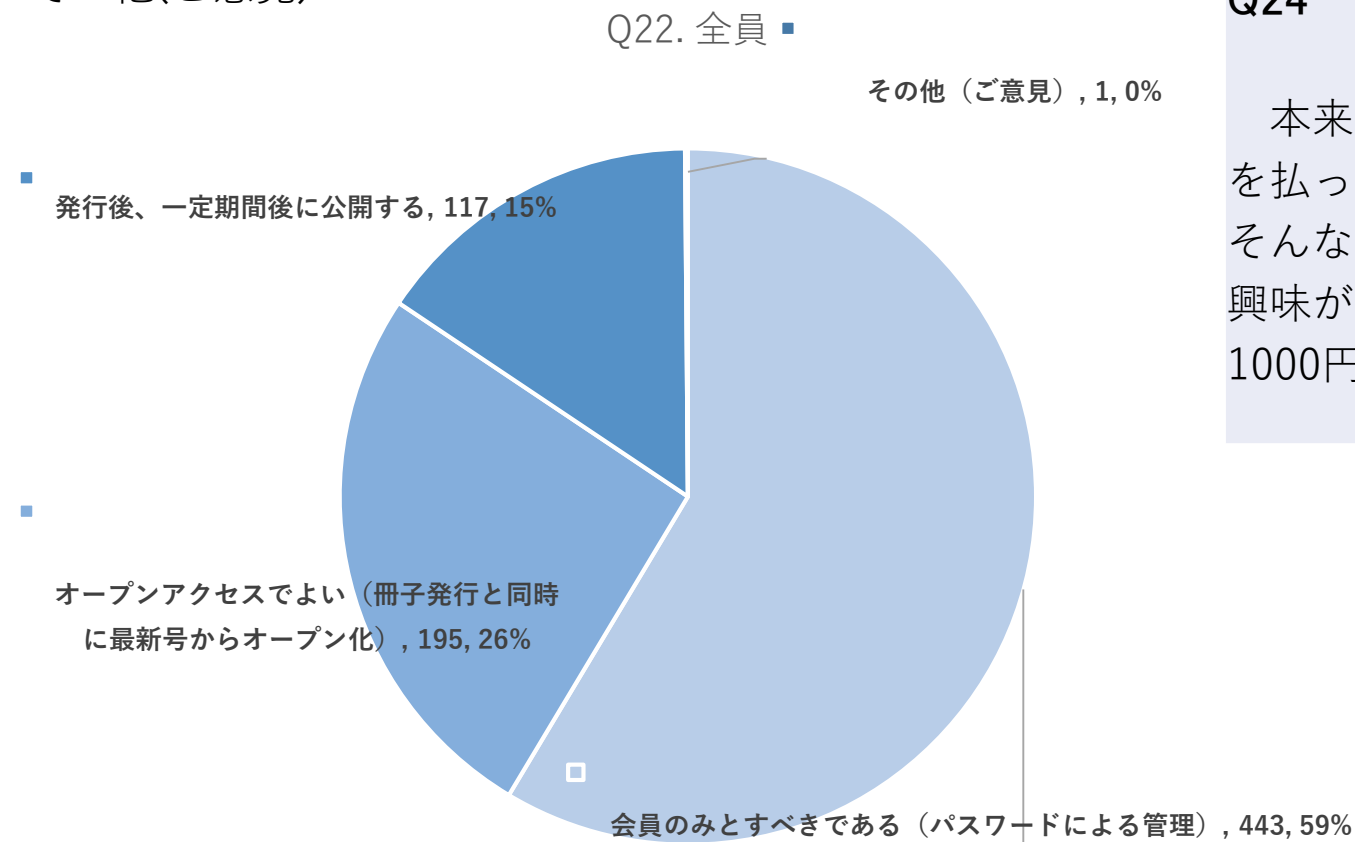


Q21 その他(ご意見)

- 他の学会（例えば日本血液学会）のようにアプリで抄録等を見られるようにする。
- 学会抄録は、事前参加申込者に、冊子で、郵送してほしい
- "抄録集は冊子の良さと電子の良さの両方を利用したいです。冊子は検査部内でどこでも見ることができるので、室員で共有がしやすいです。電子は個人利用の際、とても便利なので、両方利用出来ると助かります。"
- 日本臨床腫瘍学会などの他学会のように学会アプリを用意することで、そこから抄録の閲覧をする。アプリが利用不可能なときは冊子媒体での購入がいいと考えています。
- 会員はいつでも、どの時代に遡っても無料で見ることができればいいと思います。
- 抄録もオンラインでよいです。抄録集はすてるだけになってしまう。
- 学術集会抄録集のみ冊子製本とオンライン化の併用を希望します。
- 当院では、学術集会（発表）は限られた人員のみ閲覧できるという解釈で、論文投稿時とは倫理審査規定（患者同意取得の有無）が違うのですが、オープンアクセスにした場合、問題が生じないでしょうか？
- 学術集会参加者に配布

Q22 学会誌電子版へのアクセス方法について、どのような形態が望ましいと思われますか？

- 会員のみとすべきである(パスワードによる管理)
- オープンアクセスでよい(冊子発行と同時に最新号からオープン化)
- 発行後、一定期間後に公開する
- その他(ご意見)



Q24 その他(ご意見)

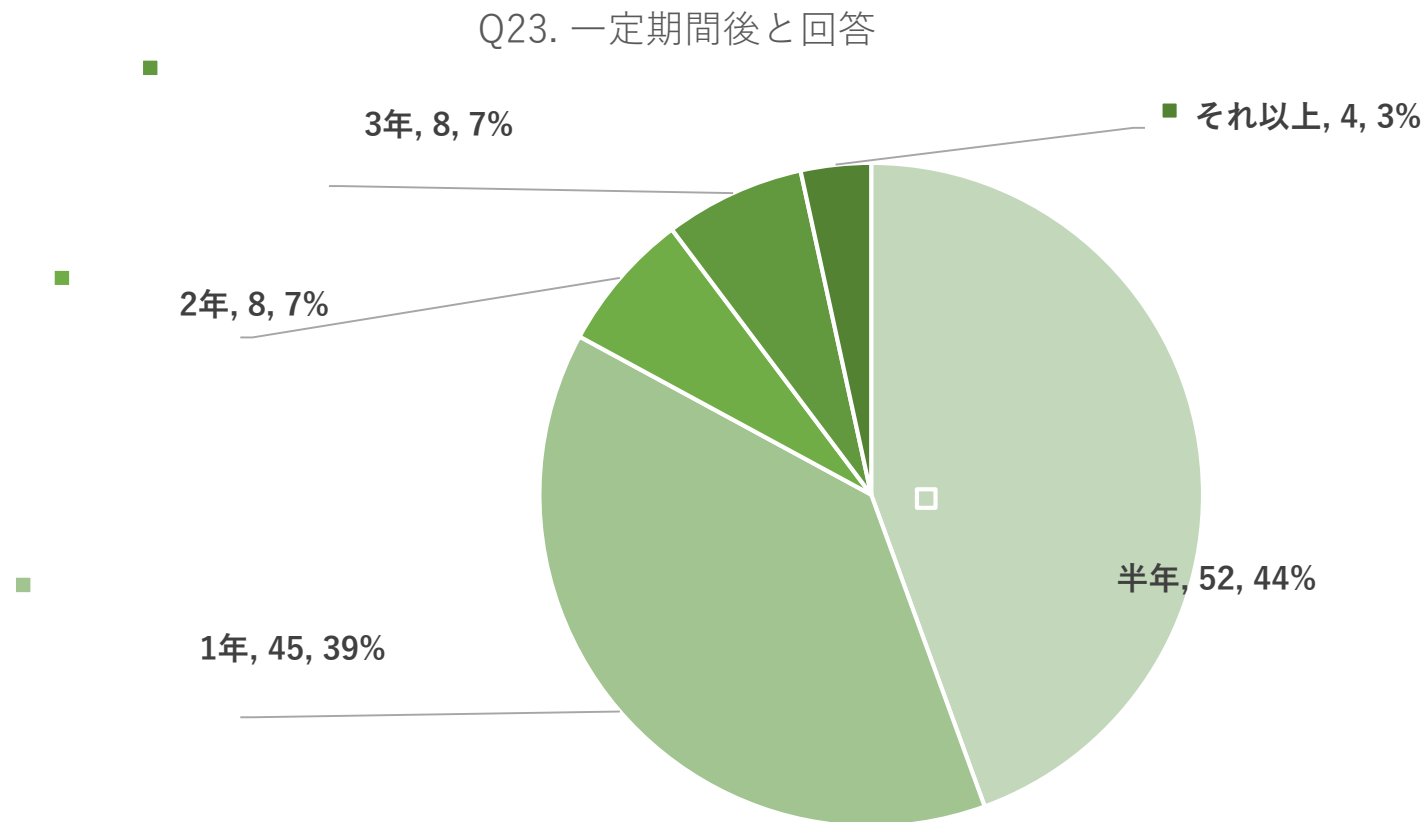
本来、password管理で会員のみとすべきかと思います（会費を払って中々学会には参加できない方もいるかもしれません、そんな方への特典かと思います）が、素晴らしい内容なので、興味がある方で、見てみたいと思う人のために、別途500-1000円位でOPENにするなどはいかがでしょうか。

質問

Q23 期間を選択ください。 (一定期間後に公開)

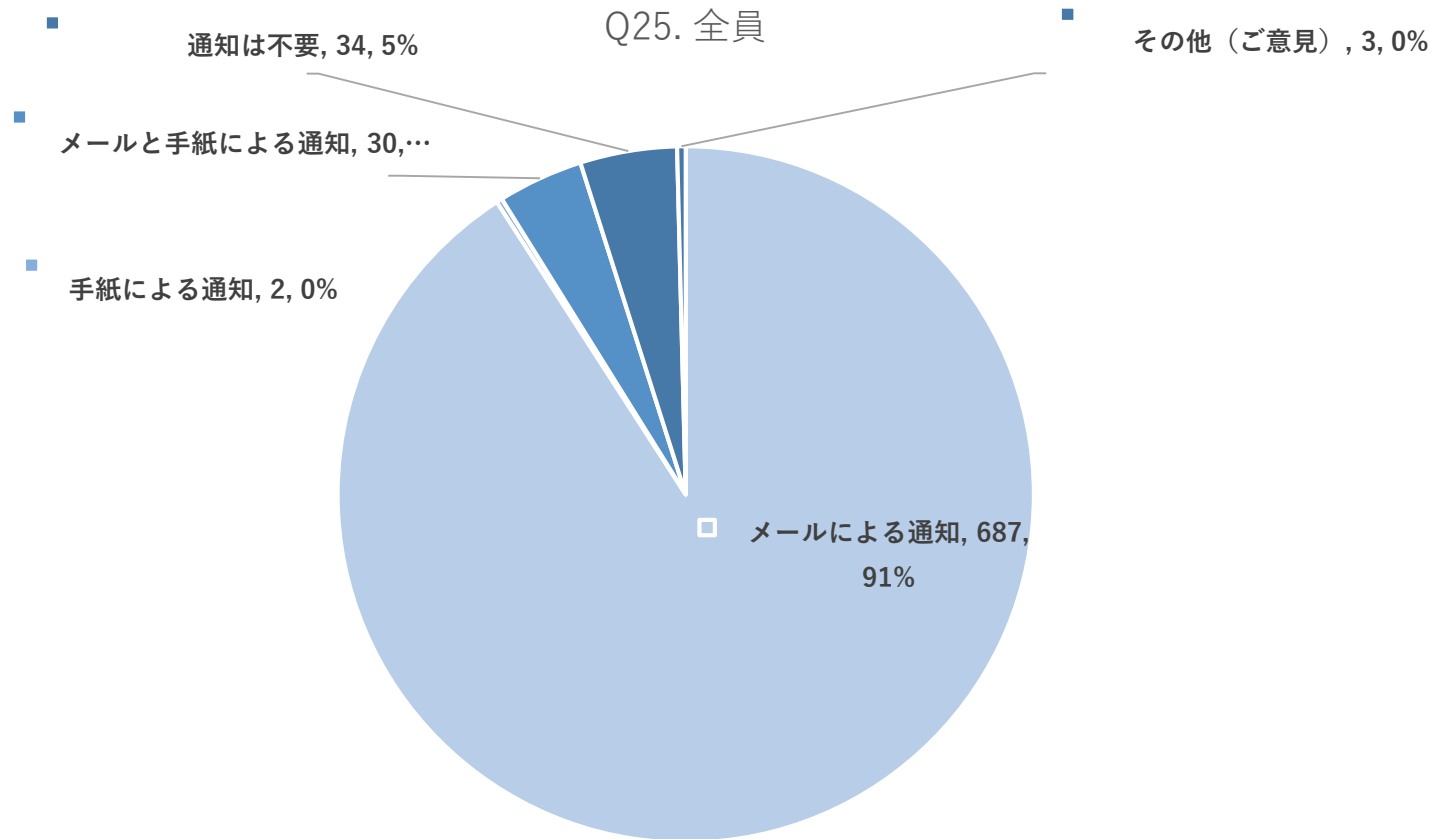
☐ 半年 ☐ 1年 ☐ 2年 ☐ 3年 ☐ それ以上

(当てはまるものを1つお選びください。)



Q25 発行のお知らせはどのような形式が望ましいと思われますか？（手数料や郵送費用がかかります）

- メールによる通知
- 手紙による通知
- メールと手紙による通知
- 通知は不要
- その他(ご意見)



Q26 その他(ご意見)

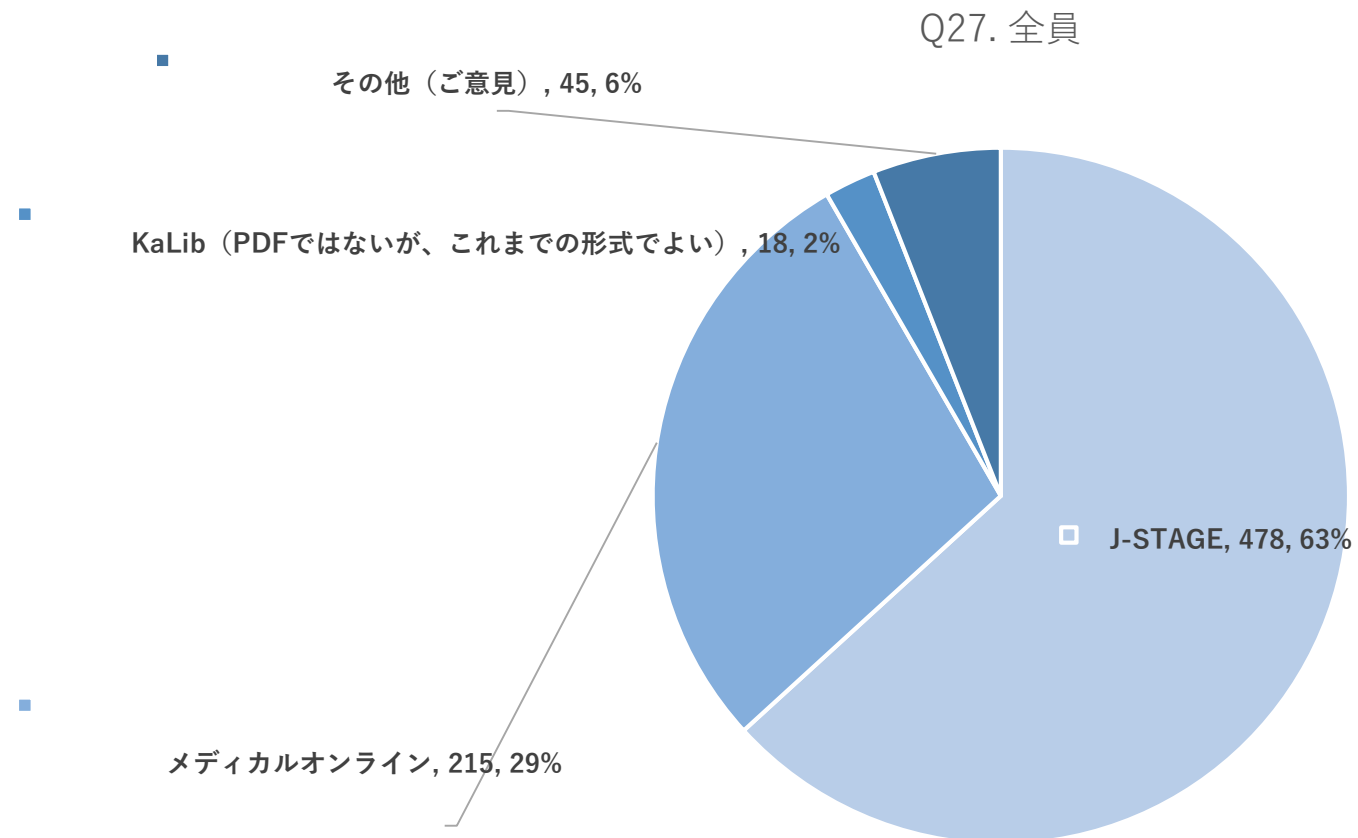
学会HP上でのお知らせ

ホームページ上のお知らせでよいと思います。

HPでのリンク先を掲示など。お金がかからなければ。

Q27 どこにオンライン化すべきと思われますか？

- J-STAGE
- メディカルオンライン
- KaLib(PDFではないが、これまでの形式でよい)
- その他(ご意見)

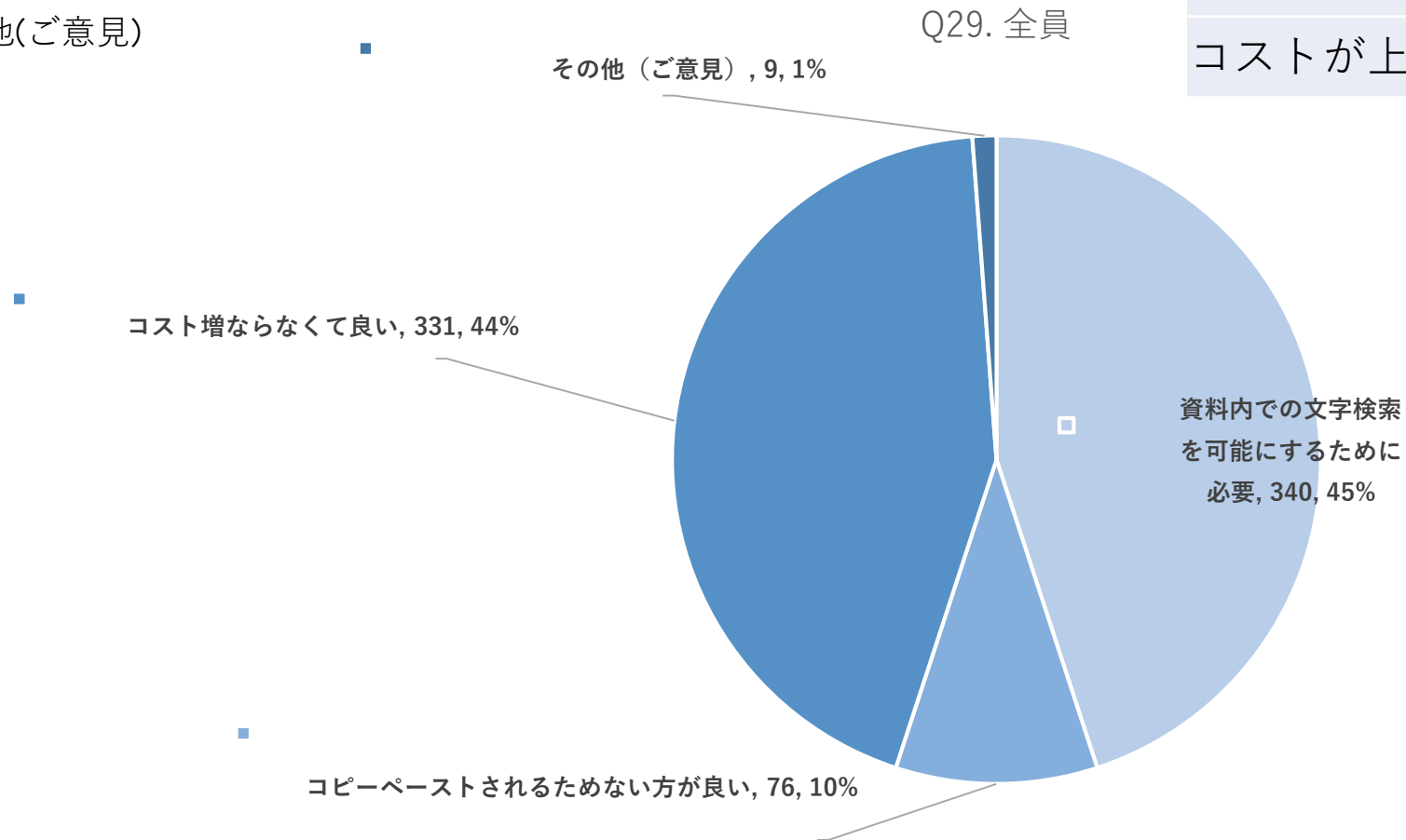


Q28 その他(ご意見)

- J-STAGEでもメディカルオンラインでもどちらでも良いです。(違いが分かりません), J-STAGEやメディカルオンラインのそれぞれの利点、欠点について詳しくないので、ご存知の方に一任します。
- 学会ホームページ, 学会ホームページで見られるようにしてほしい, 日本臨床細胞学会のように、HPから接続し、全文読める状況にあればよい。学会ホームページ上に学会誌を掲載すれば良い。ホームページの会員専用ページ
- 特に希望はない, どこでもよいのではないのでしょうか? 最適な所がわからないのでお任せしたい。よく分からないが調べやすいものが良い, 特定のサイトじゃなくても良い。学会サイト上でも、Jステでもメディカルでも。よく知らないため皆様の意見にお任せします。
- オンラインでPDF化出来れば、どこでもよい。PDFで見らるところならどこでも。
- 使用経験がないので何とも言えません。わからない, 何がいいのかはわからない, どこが最適なのかわかりません, 良く知らないので選択できない, 現在Webで見ていないのでよくわかっておりません。すみません, ことは言えない, 違いをよく把握していないため回答できません
- 会員のみに公開すべきと考える。

Q29 OCR・テキスト化すべきと思われますか（ただしコスト増の可能性）？

- 資料内での文字検索を可能にするために必要
- コピーペーストされるためない方がよい
- コスト増ならなくてよい
- その他(ご意見)



Q30 その他(ご意見)

特に希望はない

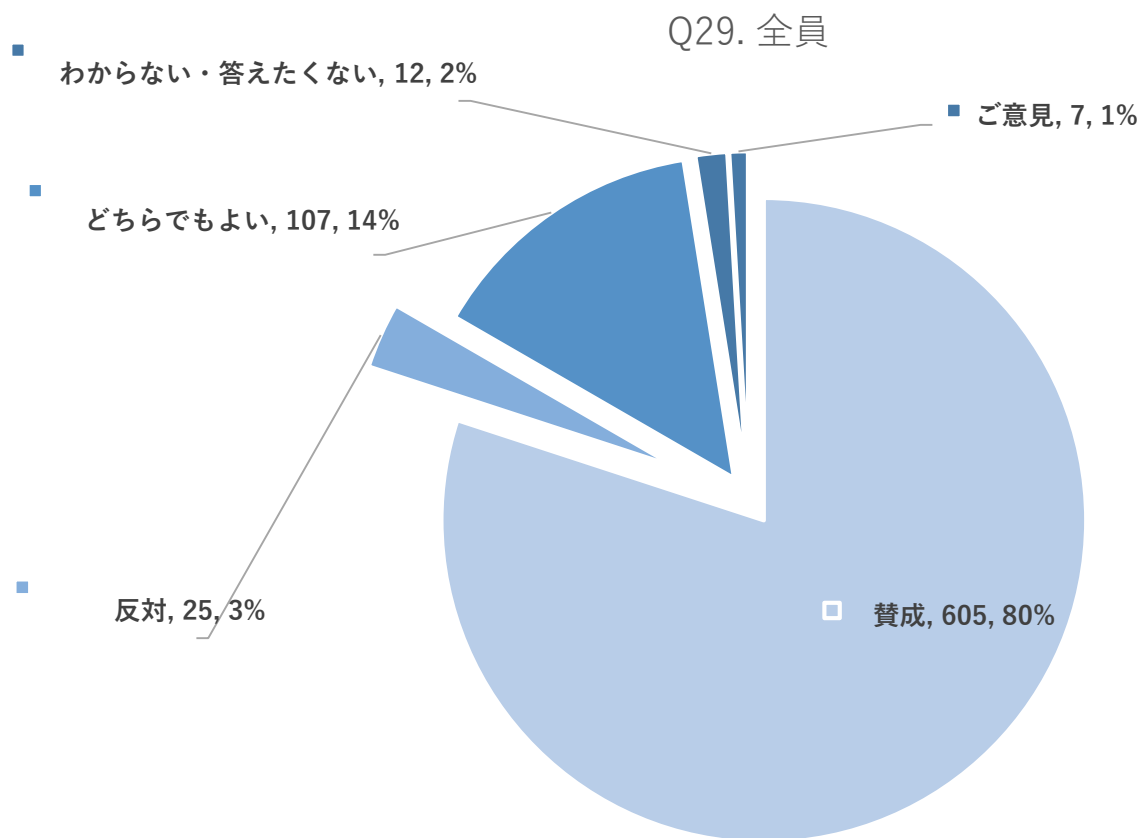
判断できません。

わからない

コストが上がるのは困る

Q31 これまでの状況、質問などを考慮して最終的に伺います。学会誌の電子ジャーナル化は？

- 賛成
- 反対
- どちらでもよい
- わからない・答えたくない
- ご意見



Q32 その他(ご意見)

Web版と希望者には増額した上、冊子配布版を残す。
KaLibは使い勝手が非常に悪いので、他のシステムへの移行をご検討下さい。

年会費が変更が無いような方法で実施してほしい。

電子化は良いと思いますが会費の負担が増えるのは嫌です。

学会誌が発行されるのであればよい

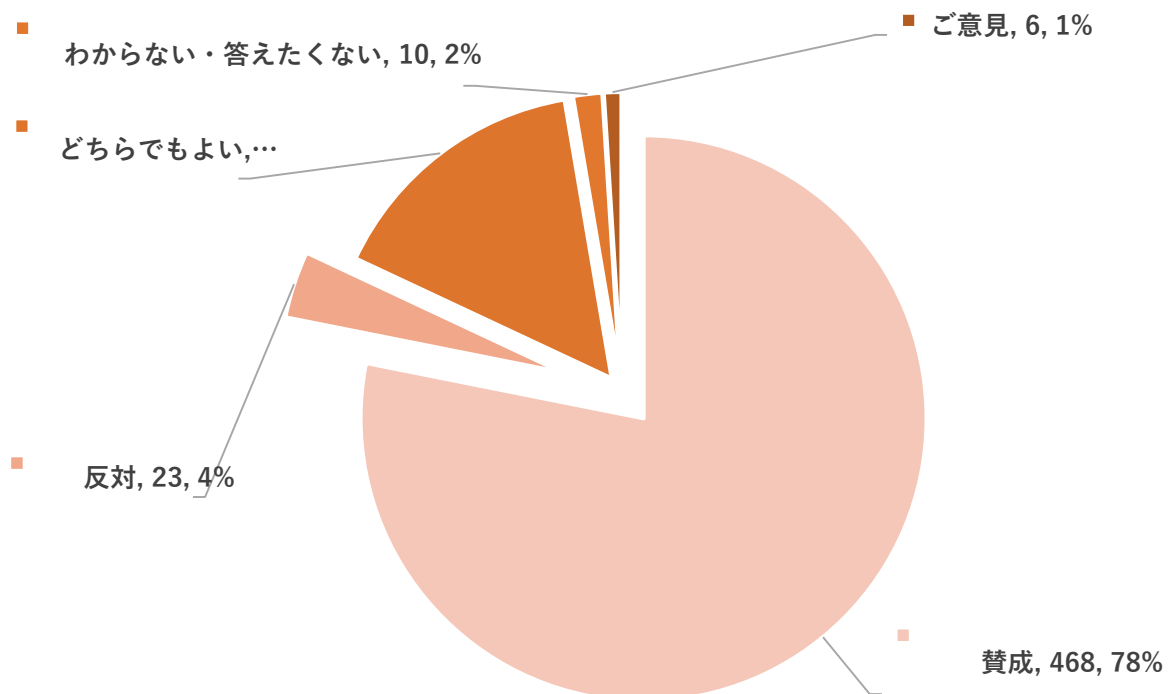
パスワード管理などによる会員のみへの公開なら電子化しても構わない。オープンアクセス化には反対する。

基本的には賛成だが今の運用では反対です

学術集会抄録集のみ冊子製本とオンライン化の併用を希望します

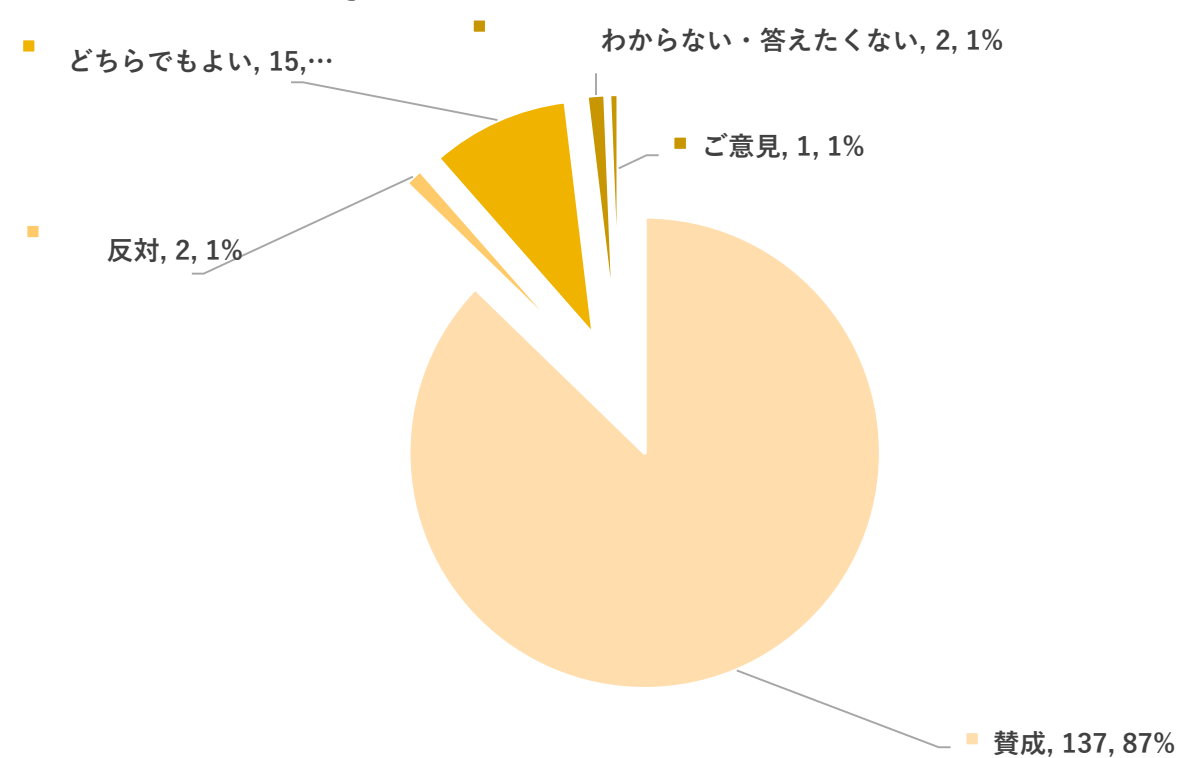
Q31 これまでの状況、質問などを考慮して最終的に伺います。学会誌の電子ジャーナル化は？

Q31. 正会員（一般）



(会員別)

Q31. 正会員（評議員その他会員）



Q33. その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。 1/3

- 1巻から見られるようになってほしい。
- 電子化する場合、発行を案内するメールの本文に目次を入れてほしいです。電子化すると、冊子体が偶然目に入ることがなくなる分、閲覧の機会は減ると思います。目次がメールで届けば、興味のあるものにアクセスすると思います。
- "情報は必要ですが、冊子は邪魔なだけです。ぜひ電子ジャーナル（検索可能なPDF）化してください。J-STAGEでのオープンアクセスにしたほうが、会員以外からも閲覧してもらえするため、知名度を上げるためにもオープンアクセスにすべきではないでしょうか。そもそも、会員しか見れないようにもったいぶる必要はないと思います。"
- 学会誌のジャーナル化に関しては賛成ですが、完全に紙媒体を廃止することは反対です。電子化は検索がしやすく保管場所にも困ることが少ないですが、紙だからこそ手に取って探しやすいったり、ネット環境が不調な場所でも閲覧できるメリットがあります。時代の流れでオンラインジャーナルは普及しつつありますが、施設内で気軽に手に取って読むことが出来る冊子があると便利だと感じます。冊子の完全廃止についてはまだ行うべきではないと考えます。
- 雑誌は残して頂きたいです。
- 標準化関連については周知のために無料でみれるようにしてほしい。
- "空いた時間にいつでもタブレット等で見れるように自分で冊子をPDF化してます。かなりの労なので、オンライン化の際にはPDF化されることを強く希望します。"
- "正直オンライン化は逆に不便になる。冊子が配布されている現在は、すぐに手に取れて職場で業務の参考にしたり空き時間に読むことができよく利用している。職場には業務で利用できる自由なネット環境がなく、オンライン化されると現在のような活用ができなくなり、結果、論文に目を通せる機会が激減すると思う。それなのに会費増額、更に冊子有料化は厳しく、納得し難い。"

Q33. その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。 2/3

- 冊子希望の場合の増額に関する質問がありましたが、年間でしょうか、冊単位でしょうか。年間で回答したため～4000円としましたが、冊単位なら冊子1000円+送料500円 くらいなら負担します。
- 論文等別刷りはできますか？30部程度
- "夜勤中の手の空いた時間などに読みたいが、職場はネット環境にない。"
- 末永く続く学会であって欲しい。
- 紙媒体、電子媒体それぞれの良さがあると思いますので、どうしたらよいかよくわかりませんでした。すみません。
- PDFによる電子化であれば充分と思います。
- "電子化するのにアンケートをされるのは丁寧な対応です。私が会員になっている学会でこのような対応をされた学会は初めてです。その分、電子化が遅くなりそうで、理事会等で決定して、早く電子化すればいいと思います。現在のカリブも使用していますが、非常に扱いにくく、最近はほとんどログインしていません。"
- 学会のオンライン開催は今後も続けてほしい。検査室の人員が少ないので土曜休みが取れない、現地開催は時間的拘束が大きい為。
- 認定血液検査技師の過去問集を年度別に電子化してほしい。スタンダード検査血液学にある分だけだと不安なので。
- スマホ用でも見られるとよい
- "お疲れさまです。ゆっくりと閲覧することが出来るのは冊子ですね。他の学会誌もオンライン化していますけれど、検索機能がないと読みにくくなりますので、分野ごと？など工夫があると良いと思います。（すでにあったらすみません！）"

Q33. その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。 3/3

- 例えば、希望する時のみ、冊子として売るという形はありますか？欲しいなっていうタイミングのみでいいと思うのですが。
- 医学以外の雑誌は電子化が進んでいるので、基本的にはすべて電子化したらよいと思います。
- 会員が利用しやすいように、また、会員以外のメディカルスタッフが参照でき、検査医学発展の一助になれば良い。
- 電子化は賛成ですが、いかなる場合も会費増額には反対です。
- "他団体はほぼ学会誌をオンライン化しているので進めていただきたい。Kalibなど特定アプリの使用は反対。この会員画面上で閲覧できるようになれば良いと思う。"
- 大変だとは思いますが、便利になるのは喜ばしいです。
- "オンライン化は昨今の状況から考えて、その方向に進むべきなのかもしれません。ただ、雑誌として届くと忙しい中でも手に取る、読むことが出来ますが、オンラインだとわざわざ見にいかななくてはならない分、読む機会が少なくなる会員もいることが考えられます。その点もご配慮いただければと思います。"
- いつでも、どこでも簡単に閲覧できるようになれば大変勉強しやすいです。